

令和7年4月10日

*We have a dream*

# 「産山学園の教育」

※ 「We have a dream」  
は産山学園の校訓

**産山学園校舎全景**



**うぶやま保育園舎全景**

**産山村教育委員会**

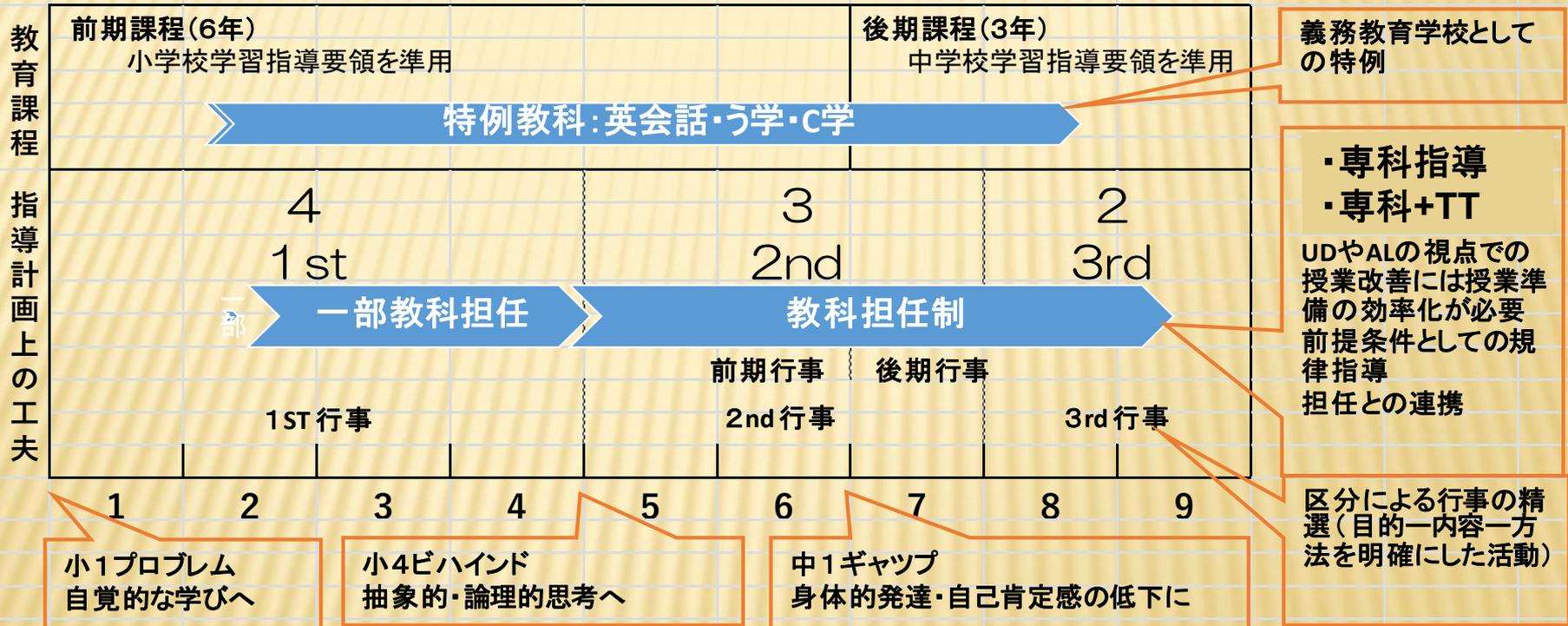
---

# (1) 教育システム

# 5-2-2制 → 4-3-2制へ

令和元年度より変更

## 学級・教科担任等の考え方



# 評価システムの構築

## 二学期制によるきめ細かな評価（PDCAサイクル）

学年始 休業日	4/8 ~7/20	夏季 休業日	8/26 ~10/8	秋季 休業日	10/14 ~12/22	冬季 休業日	1/8 ~3/25	学年末 休業日
	1 学期				2 学期			

P → D →  C · A    P → D →  C · A    P → D →  C · A    P → D →  C · A    P

<PDCAサイクルによる確かな変革>

- ◆ 前期前半・後半、後期前半・後半の4つの学びのサイクルを生かした学校経営
- ◆ 通知表（あゆみ）による学習の様子等のお知らせ
- ◆ 学校運営協議会による評価と学校経営の改善

# 学力向上検証改善サイクル

## 令和6年度産山学園学力向上検証改善 (PDCA) サイクル

～学力向上に係る日頃の授業を改善～

学力強化期間



**【目的】**  
年間を見通した学力向上プランを作成し可視化することで、全職員での実践につなげましょう。

- 県学調弱点克服ドリルで一人一人の課題の克服状況を確認【担任】
- 後期評価【担任】、学校評価【教頭】
- 自分で計画を立て勉強できるよう支援【担任】
- 次年度の取組計画策定、引継ぎ【教務部、研究部】

- 県学調結果分析及び対策 (成果・課題)
- 県学調個人票返却時の面談【担任】
- 課題克服プリントの活用による基礎・基本の定着【担任】
- 復習プリントで課題を克服 (クラス別、個人別)
- 校内研 (学力向上)

- 課題に応じた補充問題の実施
- 課題についての授業改善【教務部、担任】

- 校内研 (研究授業・授業研究会⑥)
- 熊本県学力・学習状況調査実施 (12/2～12/9)
- 県学調問題を確認し、フォローが必要な部分を調査実施直後に確認【担任】

- 学力強化月間**
- 個に応じた支援の充実【担任】 (基礎・基本の確実な定着)
  - 県学調過去問と課題克服プリントの実施【教務部、担任】

確かな学力



日常的な取組 (年間を通した取組)

- 全てのクラスで「産山型学習」の展開
- 単元のゴールの姿を設定 (単元デザイン)
- 授業とリンクした家庭学習 ○英語、英会話
- タブレットPC活用 ○チャレンジ学習
- 教科担任制 ○研究推進委員会

前期  
P

4月

- 学校教育目標及びブランドデザイン策定
- 校内研究テーマ設定【研究部】
- 全学調問題の内容確認【全職員】
- 全学調の過去問題実施【教務部】
- 標準学力検査実施
- 全国学力・学習状況調査実施 (4/18)

5月

- 家庭学習や宿題の在り方等について学校と家庭での共通理解【教務部、担任】
- 標準学力検査分析・課題の明確化【教務部、担任】

6月

- 全学調分析・課題の明確化【教務部、担任】
- 課題改善プランに基づく学習指導の改善【担任】
- 校内研 (研究授業・授業研究会①)

7月

- 標準学力調査結果分析及び授業改善【研究部、担任】
- 校内研 (研究授業・授業研究会②)

8月

- 全学調結果公表
- 全学調結果分析及び授業改善 → 指標、目標値等の見直し【研究部、担任】

9月

- 校内研 (研究授業・授業研究会③④)
- 授業改善の取組【担任】

10月

- 校内研 (研究授業・授業研究会⑤)
- 県学調過去問と課題克服プリントの実施【教務部、担任】
- 標準学力検査個人票返却及び個人面談【担任】、学校評価【教頭】

後期  
P

3月

2月

1月

12月

11月

A

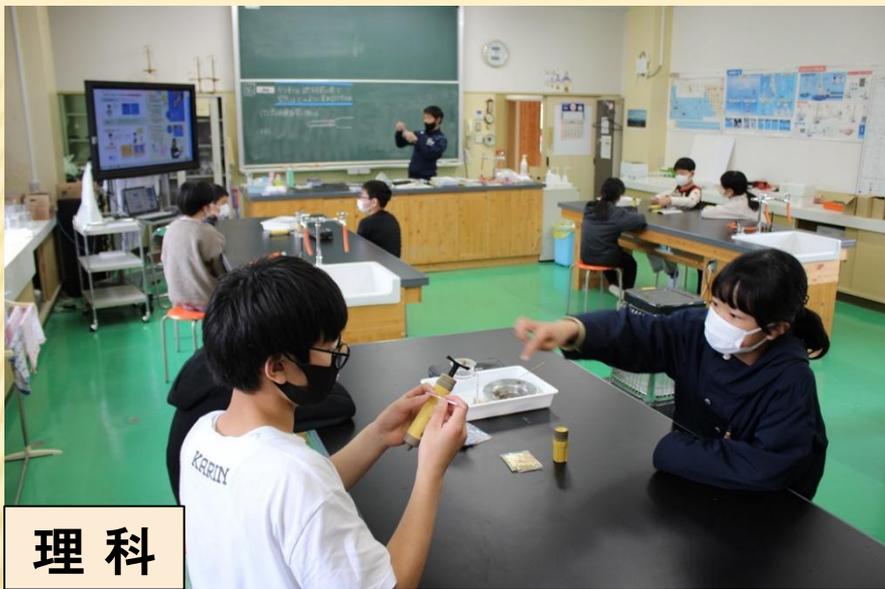
C

D

C

A

P



理科



音楽科

## 教科担任制



英語科



プログラミング教育

# 学びをつなぐ連携システム

- △ 保育園との連携
- △ 前期課程での教科担任制
- △ 学園全体の相互共通指導
- △ 共通の生徒指導体制
- △ 教職員の研修（研究）



▲ 入学式



▲ 学習発表会



▲ 卒業式

# 0歳からの育ちをつなぐ～15の春を輝かす～

産山村 家庭学習の手引き（第2版）

## 夢創造 0歳から15歳までの家庭学習

～家庭・保育園・学園が連携して家庭学習の習慣化を図りましょう～

保存版



平成31年3月

産山村教育研究会

産山村教育委員会

※0歳から中学生までの保護者に配付



▲9年保育実習



▲職員保育体験

△平成25年度から保育園を福祉部局から教育委員会管轄下に置く。

# 保小中一貫プログラム「わくわくキッズデー」年間計画

令和5年度 わくわくキッズデー計画

令和5年4月19日  
保育園・学園連携担当

☆こんな産山の子どもたちに

**We have a dream 私たちには、夢がある**

☆交流の具体的な内容

月	交流内容・日程	保育園	1年	教育委員会	保護司会	担当	
4	【担当者会】 7日(金) 組織の確認、役割分担、計画立案	○	○	○	○	学園	
5	【産山学園・校区民合同体育祭】 ○ 予行演習 16日(火)→午前中：出番をみて参加 ○ 体育大会当日20日(土)→内 容：徒走、遊戯(本年度は中止) ※打ち合わせは随時電話連絡(田上)	○	○			学園 (教務)	
	【芋のなえ植え】 23日(火) 10:00~11:30※保、3年(藤島)(う学) 予備日25日(木)	○	○			保 3年	
6	【歯科指導】 5日(月) 養護教諭→保育園に出向いて ※事前に、日程・内容の検討	○	○	○		学 養護	
7	【学校体験交流】 10日(月) 3校時 10:40~11:25 ※保、2年(北窓)→体育(晴：水遊び 雨：体育館遊び)	○	○			学 2年	
	【保育実習】 9年生の家庭科(東) ※6月19日の週に決定	○	○			保 学	
	【職員による保育園訪問・保育体験】 7/24, 25, 27日(月・火・木) (9:30~12:00) ※活動の様子観察を中心に行う。できるだけ多くの職員が参加できる よう日程を調整する。(人数制限が考えられる場合は、本年度転入 された職員を中心に調整する。)	○		サ ー ド		学 連 携 担 当	
9	【保育園運動会】 日時未定	○	協 賛	○		教 委 保	
11	【就学時健康診断】 日時は未定	○	○	○	○	教 委	
	【就学時健康診断結果の報告会】 できれば検診と同日に	○	○	○	○	学	
1	【授業体験】 18日(木) 10:30~11:30(給食体験なし) 保、1年→生活科	○	○			保 学 1年	
2	※2月初旬に入学に必要なものを保育園から。 【1日体験入学・保護者説明会】 22日(木) 13:45~16:20保、3(新4)年→学活(学校案内)		園 児 会	○	○	○	学 3年
3	【保学連絡会】 3月最終週 ※保育要録を活用した引き継ぎ	○	○			保 学	

・担当…事務局長：井(ふみお) 保育園：志賀・宮川 学園：北窓・本田 教育委員会：井(くにひこ)

・担当は、日程・時間の調整、打ち合わせをし、具体的な実施計画の作成、実施後の反省を記録する。

・令和5年度 年長児：7名(男子2名、女子5名)



▲芋苗植え



▲水遊び・交流



▲新入生体験入学

---

## **(2) 確かな学びの確立**

# (ア) 9年間の統一学習過程である「産山型学習」

## 産山型学習

過程	児童生徒の視点から	授業者の視点から
① の 課 題 今 日 は ど う な 課 題 な ら う ？	◎学習課題（めあて）をつかむ。 ・学習課題（めあて）を確かめて、やる気を出し、学習の見通しを立てる。	◎目標の明確化 ・学習意欲と見通しを持たせるための徹底指導  ※授業前（目標分析・指導計画・実態把握）
② う っ ひ か と っ り て で み よ う	◎ひとり学び（個人思考）で課題解決に取り組み、自分の考えを持つ。 ・学習課題についてしっかりと考え、それを書くなどして自分の考えを持つ。	◎ひとり学び（個人思考）の時間の確保 ・「読む」「書く」などを位置付けた言語活動の工夫。 ・評価活動（ステップなど）とそれを生かした個別指導。
③ み ろ ん な ら う な ら う ！	◎学び合って、学習課題（めあて）を解決する。 ・友達と話し合い、さらに考え、学習を深める。 ・先生の話をしっかり聞き、問題を解いたり深まった考えを書いたりしてまとめ、学習課題を解決する。	◎個人思考から小集団・集団思考への相互啓発 ・「話す」「聞く」などを位置付けた言語活動の工夫 ◎課題解決のための徹底指導 ・学習内容の整理 ・評価活動とそれを生かした個別指導
④ ま と め を ま と め よ う	◎学習を振り返り、つなげる。 ・自分や友達ののびを振り返り、その良さを認め、次時につなげる。 ・学習したことを振り返る。	◎達成感を味わわせる自己評価の工夫 ・自己評価カード等の作成・活用 ・次時の予告と意欲付け

## 産山型学習

過程	学習活動
① う っ ひ か と っ り て で み よ う ！ 今日 の 課 題 は ？	◎ <b>学習課題（めあて）</b> をつかむ。
② う っ ひ か と っ り て で み よ う ！ ひとり で	◎ <b>一人学習で課題解決</b> に取り組み、 <b>自分の考え</b> を持つ。
③ う っ ひ か と っ り て で み よ う ！ みんな で	◎ <b>学び合って、学習課題（めあて）</b> を解決する。
④ う っ ひ か と っ り て で み よ う ！ 振り返 ろう	◎ <b>学習したことを振り返り、解決して分かったことをまとめよう。</b>

# (ア) 9年間の統一学習過程である「産山型学習」

## 「熊本の学び」を自校化した産山型学習

共通実践事項

### 産山型学習

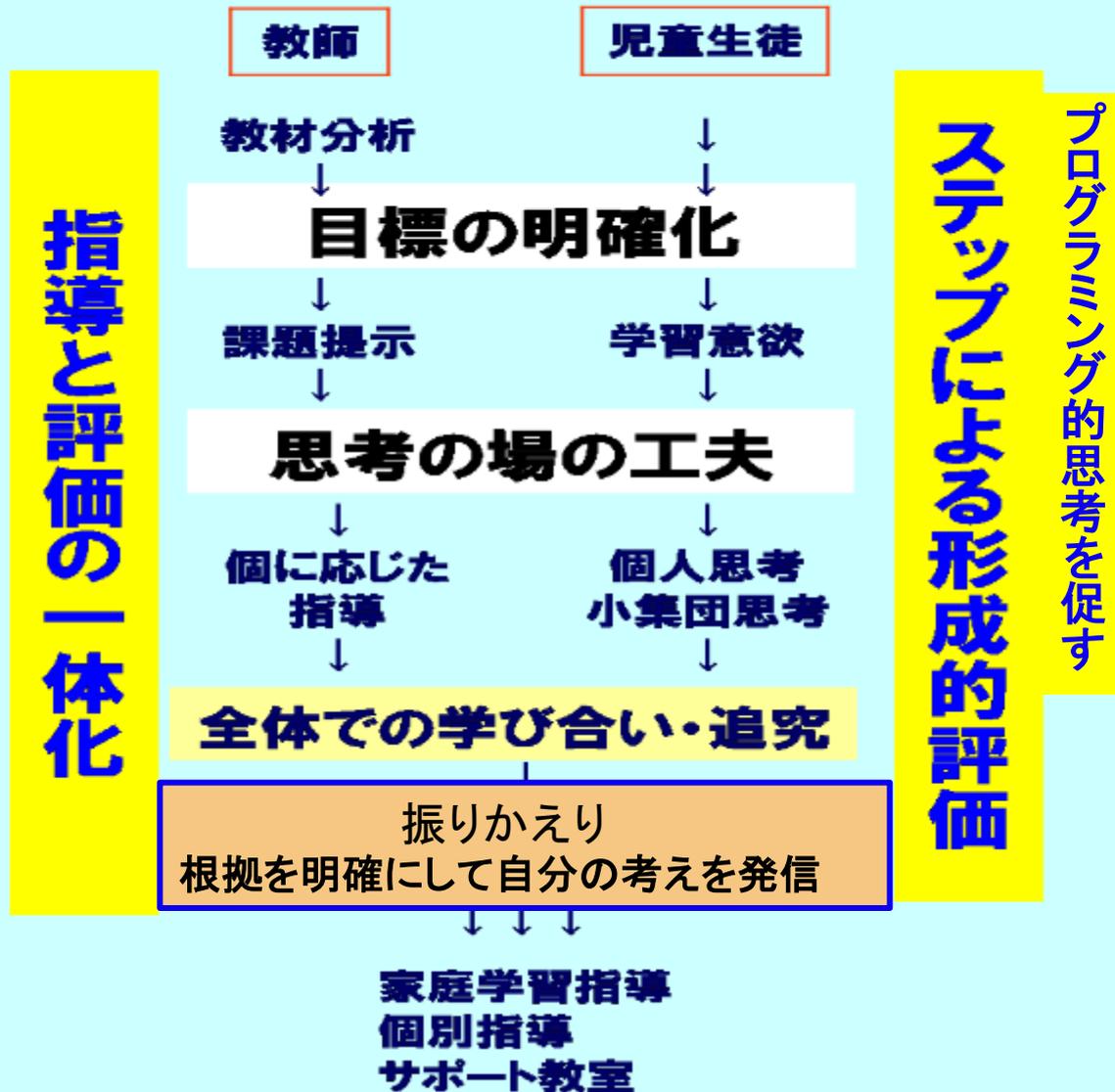
過程	児童生徒の視点から	授業者の視点から
う～ん 今日の 課題 は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎めあてや学習課題をつかむ。</li> <li>・めあてや学習課題を確かめて、やる気を出し、学習の見通しを立てる。</li> <li>「なぜ」「おそらく」(疑問や予想)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎めあての設定</li> <li>・本時のゴールの姿の明確化</li> <li>◎学習課題の工夫</li> <li>・切実感のある学習課題を立て、興味関心を高める。</li> </ul>
ぶっ かって みよう ひとり で!	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ひとり学びで課題解決に取り組み、自分の考えをもつ。</li> <li>・学習課題を自分ごととして捉え、根拠を明確にした自分の考えをもつ。</li> <li>「やってみよう」(挑戦)</li> </ul>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-right: 10px;">根拠を明確にする。</div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-right: 10px;">論理的思考を促す。</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">ひとり学び (個人思考)</div> <div style="margin: 5px;">↑↓</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">学び合い (小集団・ 集団思考)</div> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 10px; margin-left: 20px; background-color: #e0f0e0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く活動の充実</li> <li>・読解力の育成</li> </ul> </div> </div>
やろう みんな で!	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学び合って、学習課題を解決する。</li> <li>・お互いの考えを伝え合い、自己の考えを広げ、深め、学習課題を解決する。</li> <li>「なるほど」「きっと」(納得感)</li> </ul>	
まとめ ふりか えろう!	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎まとめ、ふりかえり、次時へつなげる。</li> <li>・わかったことを確認し、何を学んだのかを明確にする。</li> <li>・何ができるようになったのかを自分自身で振り返り、次時の学習につなげる。</li> <li>「わかった」「できた」「もっとやってみよう」</li> <li>(実感や達成感, 更なる意欲)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学びを実感できる主体的なまとめ</li> <li>・子供の言葉でまとめる手立て</li> <li>・めあてや学習課題との整合を図る。</li> <li>◎学びを実感できる主体的な振り返り</li> <li>・ふりかえりの視点(あかうしどん)をもたせる。</li> <li>・次の学習への意欲をもたせる評価の工夫</li> </ul> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">                 深い学びの 発信活動へ             </div>

プ  
ア  
ウ  
ト

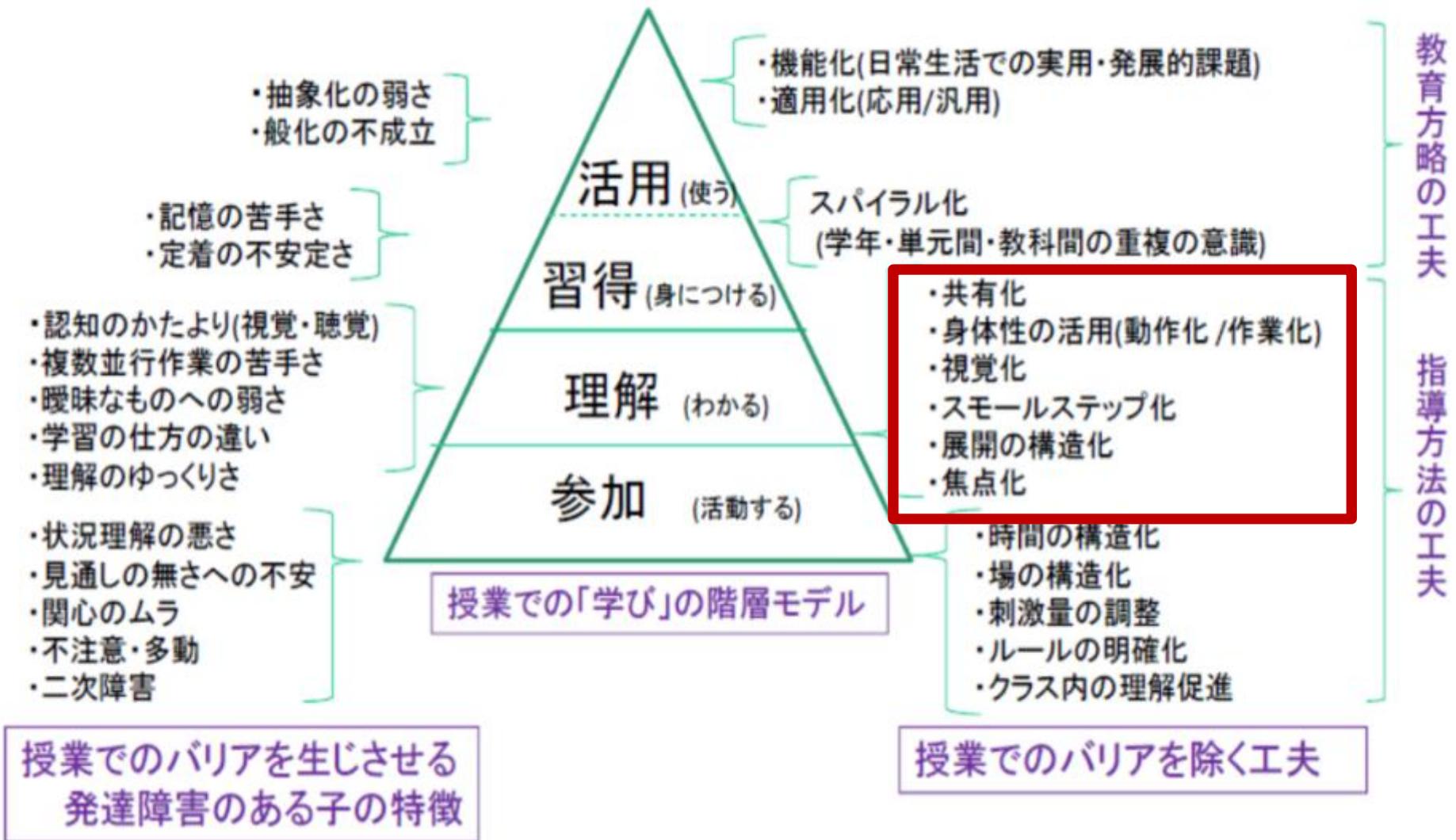
指導と評価の一体化

# 産山型学習における指導と評価の一体化

## ☆指導と評価の一体化のイメージ



# 授業のユニバーサルデザイン化モデル



## 振り返りの工夫



あ

あ～なるほど！  
と、思ったこと

か

考えさせられた  
なかまの意見

う

う～ん、と  
ぎもんに思ったこと

し

しらべてみたい  
もっと知りたいこと

どん

どんなことに  
学びを いかす？



# (イ) 保、学園の学びをつなぐ「家庭学習の手引き」

産山村 家庭学習の手引き

保存版

夢創造

0歳から15歳までの家庭学習

家庭・保育園・学校が連携して家庭学習の習慣化を促しましょう



平成27年5月

産山村保小中一貫教育企画運営委員会

産山村教育研究会

産山村教育委員会

産山村家庭学習の手引き

「0歳から15歳までの家庭学習」

(産山村教育研究会・産山村教育委員会作成)

＜主な内容＞

- 各学年における家庭学習習慣化のめあてとポイント
- 学習時間のめやす
- 家庭学習の内容と方法

# (イ) 学びをつなぐ「家庭学習の手引き」

## 家庭学習の課題

- 家庭学習の習慣が身に付いていない。(学習時間の不足)
- やらされる宿題で終わり、自分から学ぶ意欲が足りない。
- 学習に集中できず、学習意欲が不足している。
- 家庭学習の内容や方法がわからない。

- 学習の流れ(順番)を決めて、宿題と自学で計画的に学習します。
- 「始める時刻」「場所」「学習量」の約束を決め、継続的に学習します。
- 家庭学習の環境を整え、約束に従って集中して学習します。
- 「産山村 家庭学習の手引き」を活用し、目標を持って学習します。

自ら学ぶ力

ポイント1  
「家庭学習の流れ」を決める。

「宿題」⇒「自学A」⇒「自学B」の順序で学習する習慣を身に付けよう。

<チェック>

- 「計画的・継続的な学び」が進められていますか？
- 「進路に向けて目標を明確にして」取り組んでいますか？

計画(学習の順序)

宿題

自学A

自学B

1日の授業を振り返り、学習計画を立てる。(5分程度)

今日やらなければならない学習(宿題)にチャレンジする。

教科書・ノートを活用し、授業の予習や復習にチャレンジする。

自分を高めるために学びたいことにチャレンジする。

- ◆ 教科書やノートに目を通し、1日の学習を振り返る。
- 期日までに提出しなければならない宿題はないか。
- 分からなかったところや、新たな疑問が出た学習はなかったか。
- もっと知りたいと思った学習はなかったか。
- ◆ すべきことから学習の順序を決める。

- ◆ 「日記」など、毎日しなければならない宿題をする。
- ◆ 明日(期日まで)に提出しなければならない宿題をする。
- 【例】・学年で指示されている日記を書く。
- ・各教科から出されているプリントやワーク(問題集)を解く。
- ・○分間スピーチの準備。
- ・次の授業までに指定された予習をする。

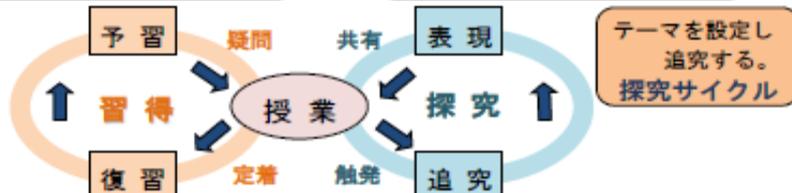
- ◆ 授業の予習や復習など、自分の課題克服のための学習に取り組む。
- ◆ 定期テストや単元テストなど、目標に向け、自分で計画を立てて自学に取り組む。
- 【例】・学習のめあて「課題」と「振り返り」を書き出してみる。
- ・次の時間に学習する内容について、読む、調べる、疑問を書き出す。

- ◆ 自分の課題克服のため自分で続けている自学に取り組む。
- ◆ 興味・関心を持った学習テーマなど、自由に取り組む。
- ◆ 読書に親しむ。
- 【例】・興味を持ったことについてレポートを書く。
- ・新聞を読んだ感想を書く。
- ・読んだ本の感想を書く。
- ・検定試験(漢検・英検・数検)対策

家庭学習のサイクル



知識や技能を身に付ける習得サイクル



ポイント2  
「学習の約束」を決める。

- 1 始める時刻を決めよう。
- 2 学習場所を固定しよう。
- 3 学習量の目安を決めよう。

<チェック> 私の家庭学習の約束

- 始める時刻は 時 分です。
- 学習場所は です。
- 学習量の目安は 時間 分です。

※毎日の学習時間を記録していきましょう。

ポイント3  
「学習環境」を整える。

- 1 学習場所を整理整頓しよう。
- 2 必要な準備をしてから学習しよう。
- 3 終わったら、次の日の準備をしよう。

<チェック>

- 学習する場所は、集中して学習できる環境ですか？
- 途中で中断しなくてよいように、始める前に学習に必要なものが準備されていますか？
- 学習が終わったら、片付けといっしょに次の日の準備までできていますか？

ポイント4  
「産山村家庭学習の手引き」を活用する。

- どんな内容をどんな方法で勉強すればよいか参考にしよう。

<チェック>

- 学習の目標をしっかり持っていますか？
- 目標に合った勉強の仕方を工夫していますか？
- 先生方のアドバイスを生かしていますか？
- 自分の力になる家庭学習になっていますか？

「家庭学習ガイドライン」(後期)

(ウ)

# R6産山学園の研究

～テーマ（1年次）～

「主体的に学習に取り組み、考えを深める子どもの育成」

校訓

We have a dream 私たちには、夢がある

学校教育目標

心豊かに、たくましく、互いに高め合う学園生の育成

研究テーマ

主体的に学習に取り組み、考えを深める子どもの育成

Thinking

9年間を  
見通した

Teamwork

つながり  
つなぐ  
がキュラム

Challenge

内容①

実態をもとにした授業改善

- ① 自力で情報を取り出す力をつける授業づくり
- ② 子ども自身が学びを確認する「まとめ」ができる授業づくり

内容②

学びと暮らし、地域をつなぐ  
教育活動の充実

- ① ヒゴタイ・イングリッシュ
- ② うぶやま学
- ③ チャレンジ学習

人権教育の視点・ICT教育の推進

信頼される学校づくり

コミュニティ・スクール

地域と連携した居場所づくり

学園生の実態・願い

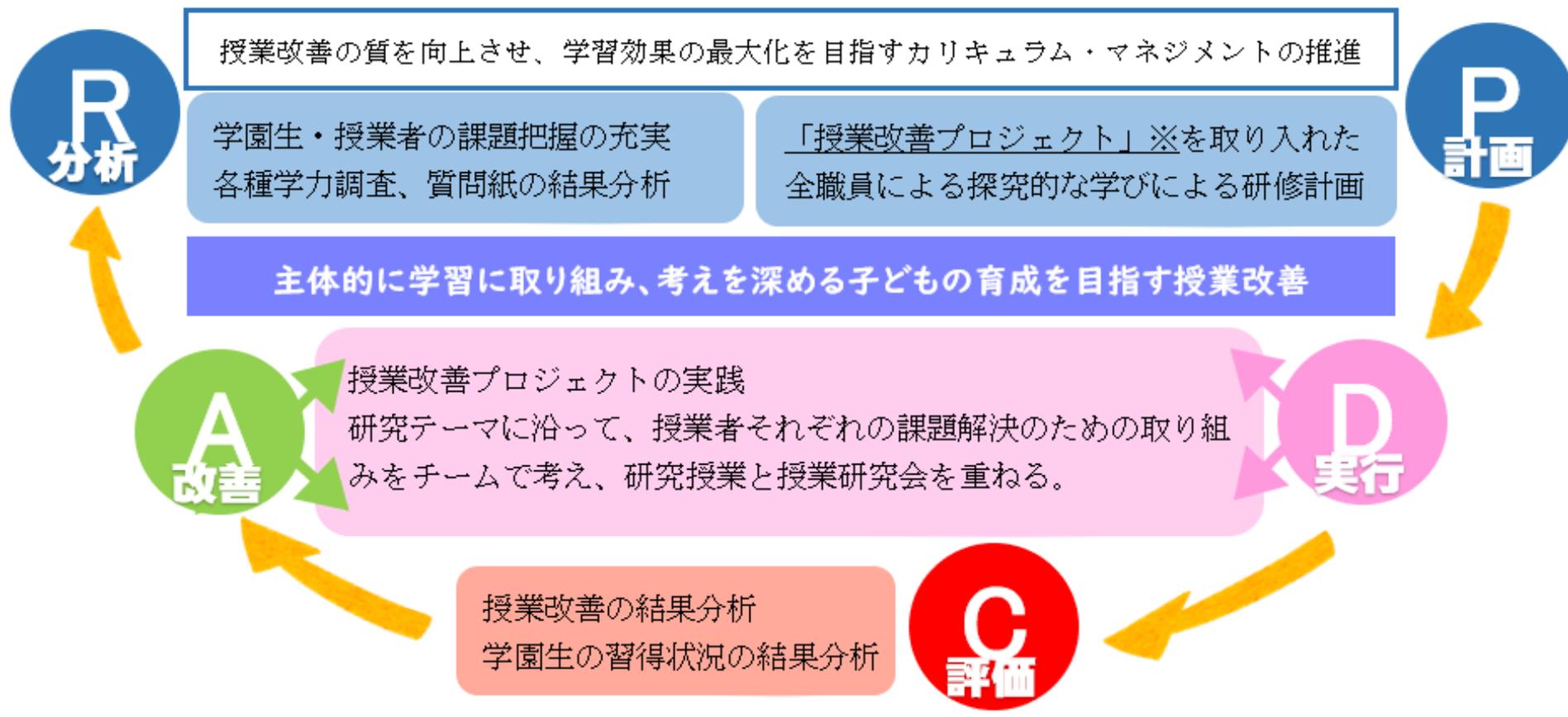
地域学校協働本部  
(学校応援隊)

保護者・産山村の願い



## 内容①「実態をもとにした授業改善」のための研究の方法と2つの視点

実態分析をもとにした授業改善を行うことにより、学びに向かう力や自己肯定感が高まり、学園生が確かな学力を身につけることを目指します。



重点

1

## 自力で情報を取り出す力を育む授業

めざす学園生

課題把握の場面での学び方を身につけた学園生

重点

2

## 「まとめ」で自分の学びを確認する授業

めざす学園生

「学んだこと」を自分の言葉で明らかにする学園生

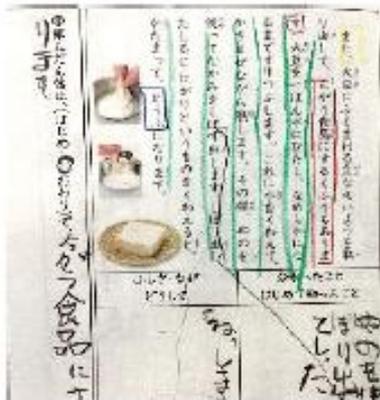
# 内容① 研究の実際

## 第3学年 国語 説明文「すがたをかえる大豆」 情報を取り出す力を高めるグループ

### 重点 1

自力で情報を取り出す力を育む手立て

「食品名」を青、「おいしく食べる工夫」を赤、「作り方」を緑で色分けして線を引くことで、何がどこに書かれているかを意識して読めるようにした。



### 重点 2

「まとめ」で自分の学びを確認する手立て

大切にしたい表現を視覚的に示すことで、児童が、段落の順番について理解を深め、自分なりの言葉でまとめることができるようにした。



㉔ 筆者はなぜこのような「れい」のならば方にしたのか考えよう。(段落の構成の意図を考える)

㉕ 段落ごとに内容を確認し、比較する。

時間が書いてあったよ。だんだん時間がかかっているね。



㉖ 自分なりに根拠をもって段落の構成の理由を伝え合う。



作り方が分かりやすい順に並んでいると思う。

作り方がだんだん難しくなっている。

㉗ 段落の順番を決めるときに大切なことは何かを自分の言葉でまとめる。

読む人が分かりやすいように書いています。

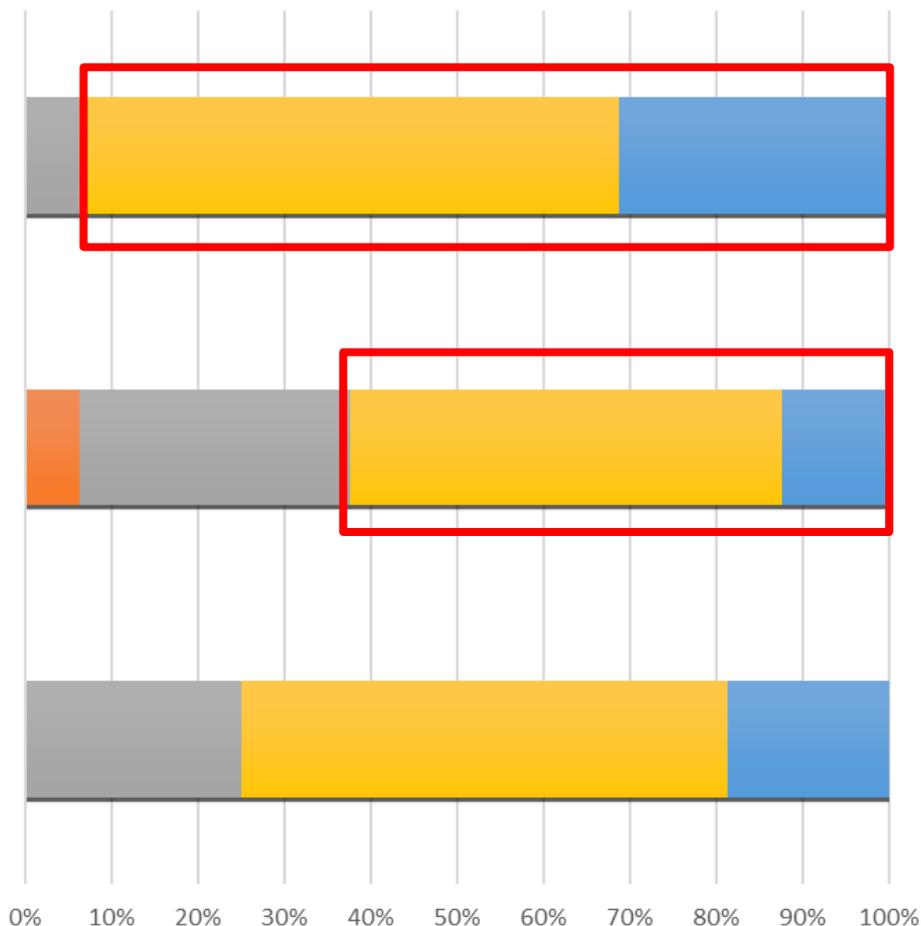


## 研究に対する授業者の意識アンケート結果

「学力調査等の問題・結果」の分析を行ったことは、自身の授業改善に有効でしたか。

担当する授業で「自分の学びを確認するまとめ」ができるために、工夫することができましたか。

担当する授業で「自力で情報を取り出す力」を身につけるために、工夫することができましたか。



■ できなかった

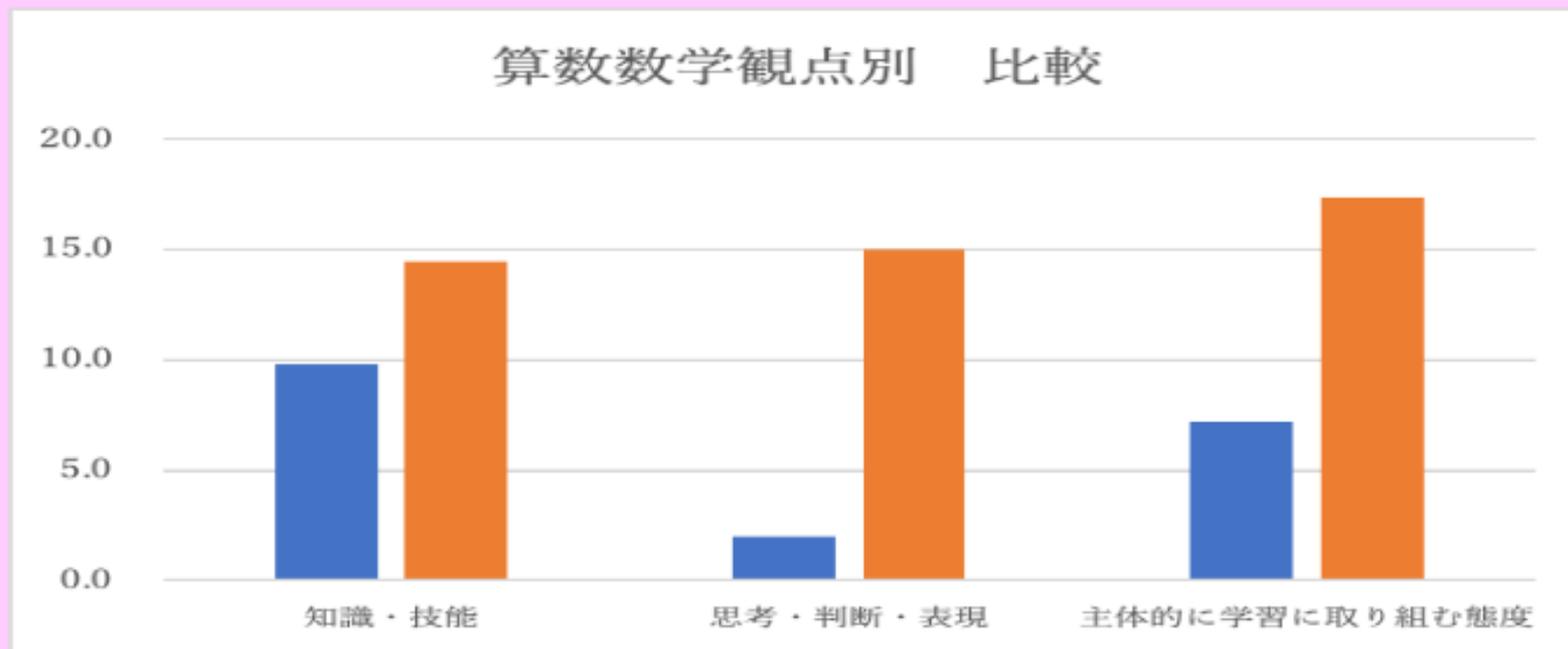
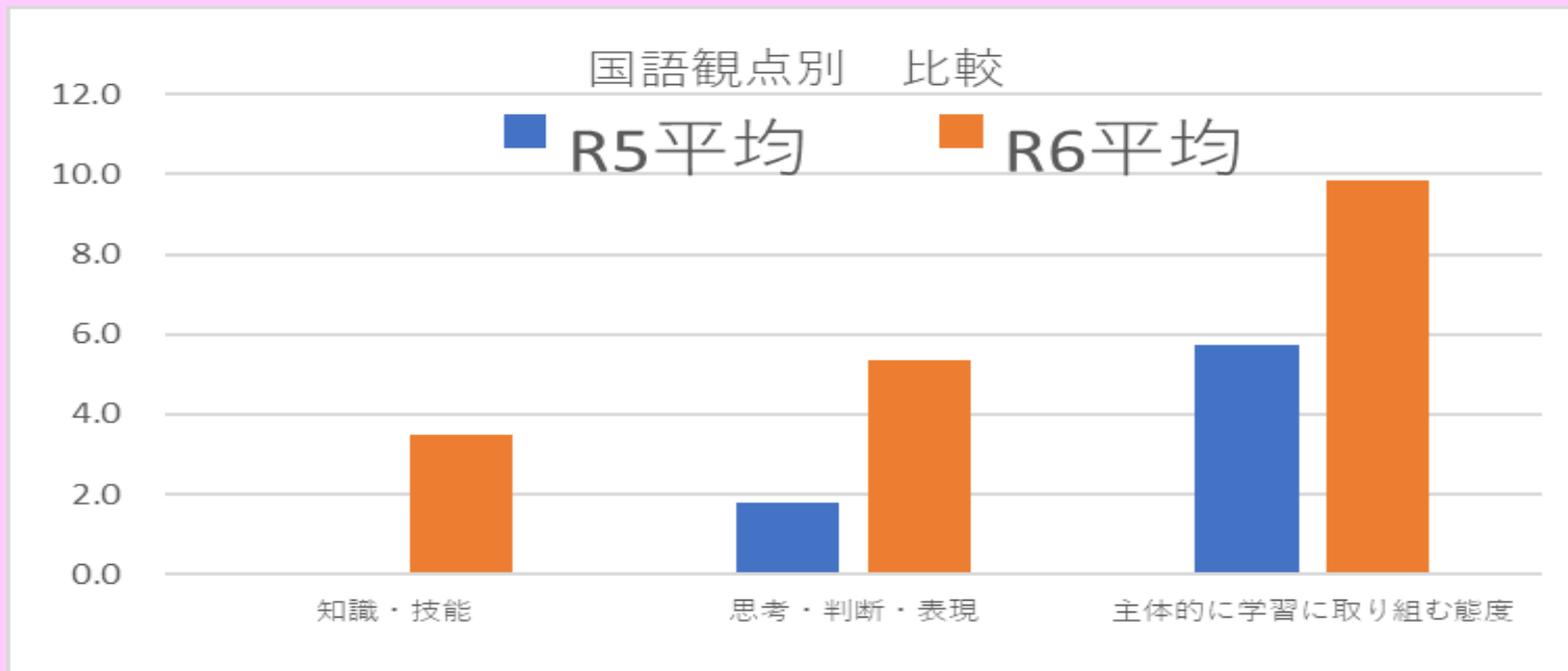
■ おおむねできた

■ あまりできなかった

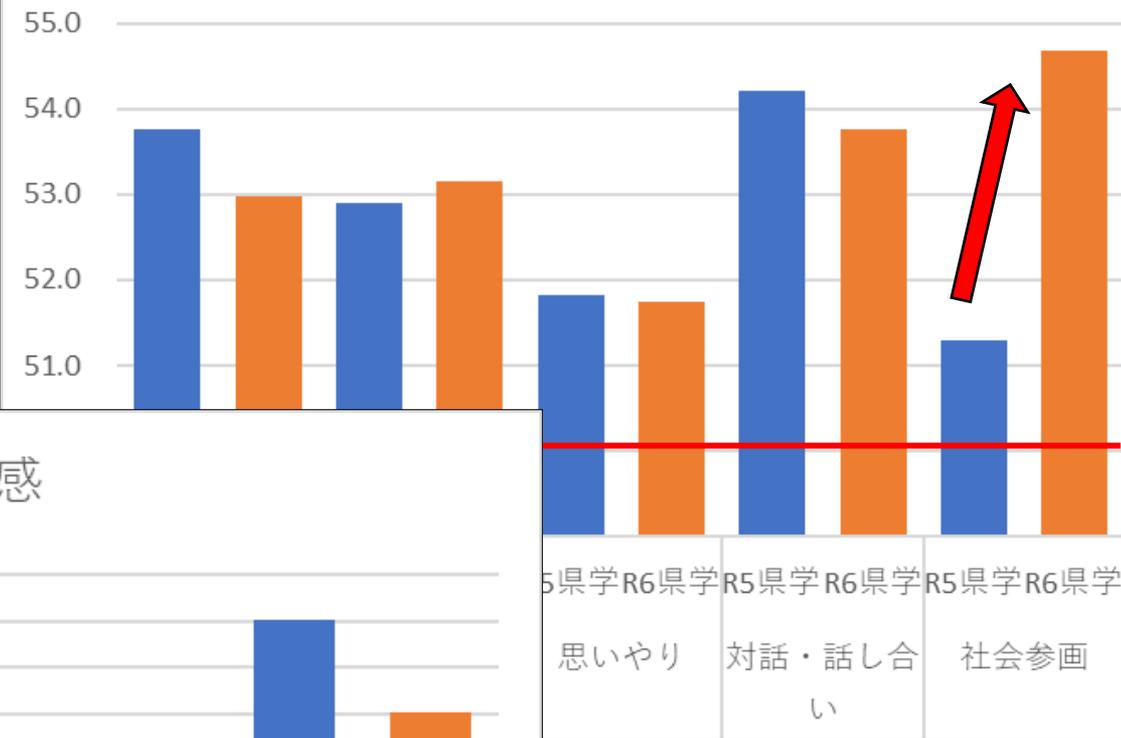
■ できた

■ どちらとも言えない

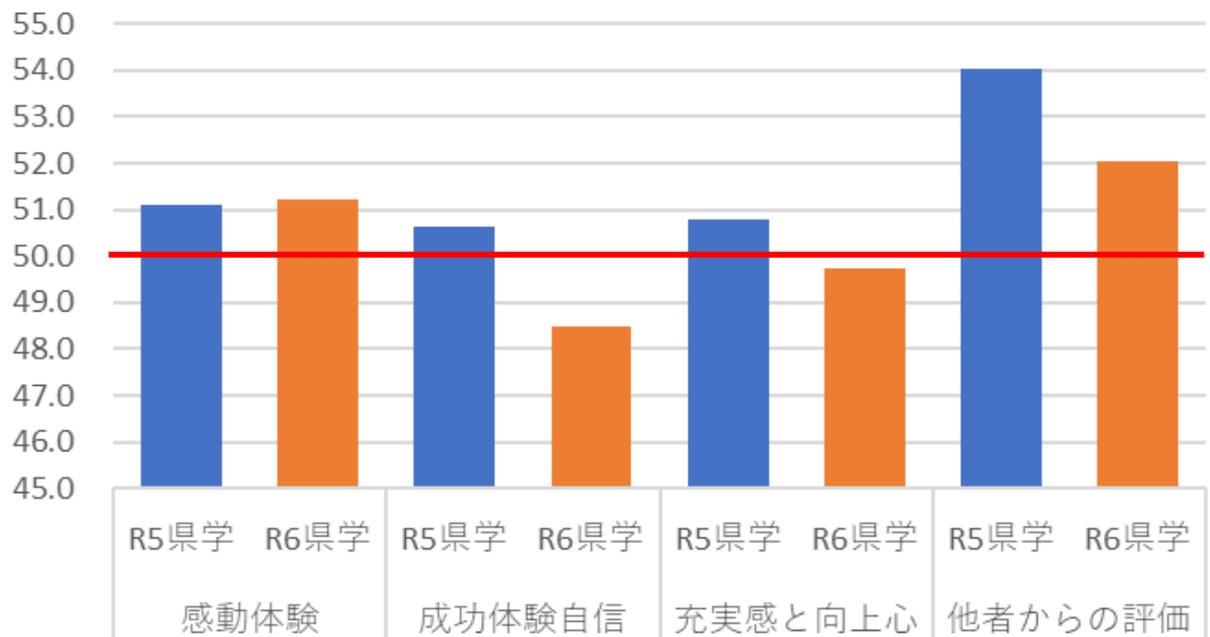
全国の正答率を0と見た時の本校の値



## ソーシャルスキル



## 自己肯定感

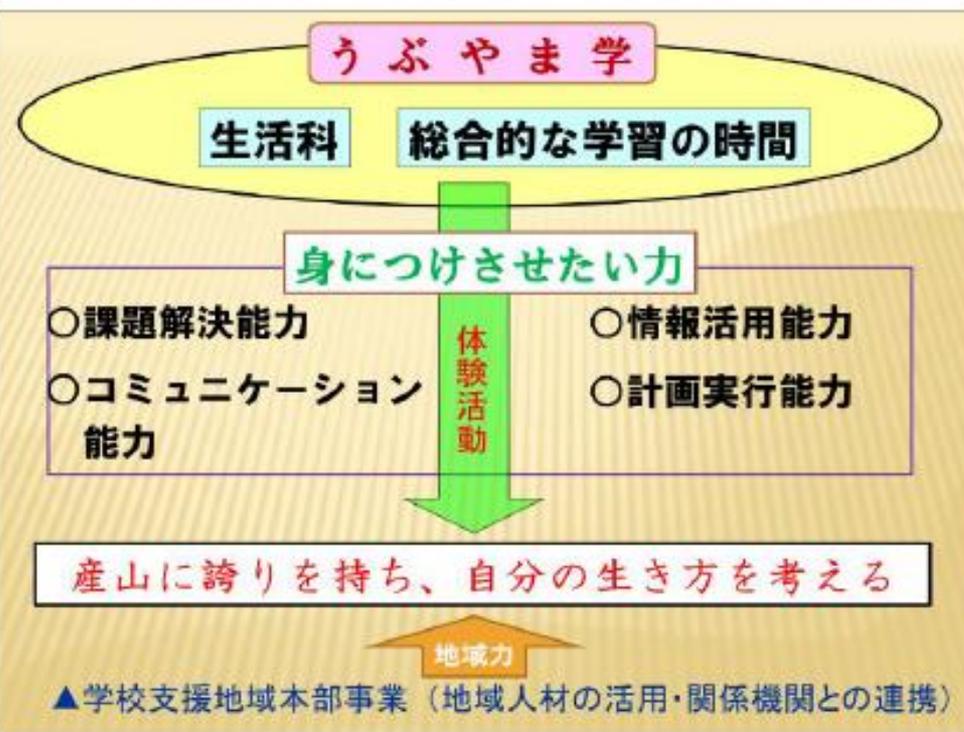


## 内容② 学びとくらし、地域をつなぐ教育活動の充実

自己の成長が実感できる体験活動や表現活動を行うことにより、学園生が学習における達成感を味わうとともに、自尊感情を高め、自他を尊重しようとする豊かな心を育むことを目指します。

### ヒゴタイ・イングリッシュ(ヒゴタイ交流を核とした英語教育)

ヒゴタイ交流を核とした英語教育の充実のために、1年生から9年生まで、英会話科における英語教育の実施。



### チャレンジ学 通称「チャレ学」

国語(漢字)

算数・数学

英検

△児童・生徒が自分で目標を設定

△複数の教員できめ細やかな指導

○基礎基本の定着

○学習意欲の喚起

○発展的学習

○個々の力を伸ばす

各種検定へチャレンジ

---

## **(3) 特色ある教育課程**

### (3) 特色ある教育課程

ヒゴタイイングリッシュ

【ヒゴタイ交流を核とした英語教育】

(英会話科・外国語活動・英語科)

教育課程の編成（令和7年度）

学年 教科等	1ステージ				2ステージ			3ステージ	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
英会話科	20	20	20	20	35	35	35	35	35
外国語活動 英語科			35	35	70	70	140	140	140
うぶやま学	34	35	45	45	45	45	45	45	45
チャレンジ学習			25	25	25	25	25	25	25

### (3) 特色ある教育課程の編成

## 英会話科

ヒゴタイ・イングリッシュ : ヒゴタイ交流を核とした英語教育

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
英会話科	20	20	20	20	35	35	35	35	35
外国語活動 英語科			35	35	70	70	140	140	140



1年生 英会話の授業



5年生 英会話の授業

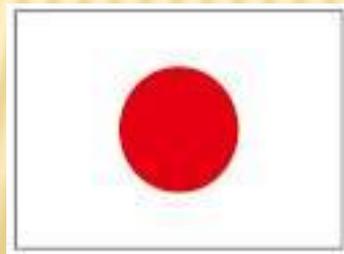


ヒゴタイ交流(受入時)の様子(後期課程)

# ヒゴタイイングリッシュ創設の背景となった タイとの国際交流『ヒゴタイ交流』

ヒゴタイ交流とは昭和63年度(1988年)より産山村と中学校が一体となり始められたタイ王国国立カセサート大学付属中学校との交流(通称ヒゴタイ交流)である。

「ヒゴタイ」とは村花のヒゴタイと「肥後(熊本)とタイ」を掛けた名前である。



村花:ヒゴタイ

## 「村独自の誇りある教育を」という思い

村内に建設中のダムで技術を学んでいた、東南アジアの研修生を産山中に招き、講演会などを開き国際理解教育。

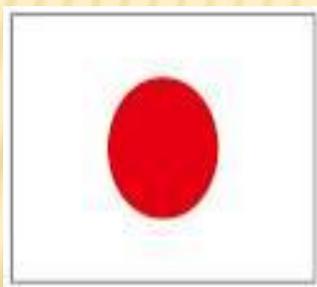
農水省の職員に「身近なアジアの国と交流を始めたい」と打診

同省から国際協力事業団(現国際協力機構)に出向しタイに滞在中だった同僚にカセサート校を紹介される

昭和63年7月に協定書(題名「カセサート大学付属校及び産山村・産山中学校間の姉妹校交流に関する議事録」)を締結

交流生の構成は原則として男子生徒2名、女子生徒2名、引率教師1名の計5名

お互いに長期休業(産山:夏休み、タイ:10月)を利用してそれぞれの家庭に3週間ホームステイして、授業、各種行事、小旅行等に参加



相互理解や国際親善という目的を十分に果たしている。

## これまでの派遣生の人数

第1回 (4)      第2回 (4)      第3回 (4)      第4回 (4)  
第5回 (6)      第6回 (4)      第7回 (4)      第8回 (4)  
第9回 (4)      第10回 (6)      第11回 (4)      第12回 (4)  
第13回 (4)      第14回 (4)  
第15回 (0)      第15・16回 (5)

※2003年度SARSのため派遣・受け入れともに中止

第17回 (4)    第18回 (4)    第19回 (4)    第20回 (10)    第  
21回 (5)    第22回 (5)    第23回 (4)    第24回 (4)  
第25回 (9)    第26回 (4)    第27回 (4)    第28回 (4)  
第29回 (4)    第30回 (6)    第31回 (4)  
第32・33・34回 (0)      第35回 (4)    第36回 (4)

**令和7年度 第37回 (4)      8月3日～23日**

※2009年度新型インフルエンザのため派遣・受け入れともに中止  
(3月に1週間4名派遣)

※2020～2022新型コロナウイルス感染症のため派遣・受け入れともに中止

**派遣生計      148名**



夏季休業中の3週間、4名の生徒を派遣 ホームステイをしながら、カセサート大学附属中学校で学校生活を送り交流

# 産山学園生のタイでの様子 (R6)



# タイ王国からの受入の様子

R6



通常、9月～10月の3週間、4名のカセサート校交流生を受入れ、ホームステイをしながら産山学園で学校生活を送り交流を深める。

# 英語力を発揮しながら国際理解を深める



8年 保体

9年 理科

前期課程 英会話科

各教科の授業

- 平成29年秋, 受入れ30周年の節目を迎え, 日タイ修好130周年記念事業として歓迎式典を実施(10月16日)



## タイ交流生の日本での生活

- 交流期間中本校生徒と共に各教科2～3時間の授業を受ける。
- 放課後の時間に「文化交流プログラム」を設定し、日本文化や部活動等の体験活動を行う。
- 行事等では、記念植樹・高校での文化体験・研修旅行・料理教室・伝統文化の体験と盛りだくさんのプログラム。
- 交流生は学校においては本校学園生と共に、家庭生活においてはホストファミリーと共に、日本の生活習慣・文化を体験学習する。休日はホストファミリーの方で計画され、観光地に行ったりショッピングを楽しむ。

# ヒゴタイ交流の成果

回を重ねるごとに、積極的交流がみられるようになった。本校からの派遣生以外の生徒が10月の受け入れにの際にカセサート校の生徒と積極的に関わっている姿も多々見られる。

互いの国の文化や伝統を理解し、言葉の壁を乗り越え、心と心を通わせることによって、国際社会の一員としての自覚を深めるとともに外国語学習への意欲が高まってきている

平成19年度からの小中一貫教育の実施に伴い、小学校からの英会話学習につながった。学力調査等の結果からも、聞くことや話すことの観点で高い数値がみられる。

### (3)特色ある教育課程の編成

## (イ)うぶやま学

### 教育課程の編成（令和6年度）

ステージ・学年 教科など	1stステージ				2ndステージ			3rdステージ	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
英会話科	20	20	20	20	35	35	35	35	35
英語科					70	70	14 5	14 5	14 5
うぶやま学	34	35	45	45	45	45	45	45	45
チャレンジ学習			25	25	25	25	25	25	25

# うぶやま学

地域との連携や地域人材の活用を通して、体験活動を重視した学習を展開し、子どもたちの心を豊かにするとともに、「産山」に誇りを持ち、将来の自己の生き方を考えていく学習



# うぶやま学

生活科

総合的な学習の時間

身につけさせたい力

○課題解決能力

○コミュニケーション能力

○情報活用能力

○計画実行能力

体験活動

産山に誇りを持ち、自分の生き方を考える

地域力

▲学校支援地域本部事業（地域人材の活用・関係機関との連携）

# 令和6年度「うぶやま学」年間指導計画

令和5年度 うぶやま学 実施計画

学年 (総時数)	テーマ		4月	5月	6月	7月	8・9 月	10月	11月	12 月	1月	2月	3月	全体活動
1年 (34)	うぶやまで学ぶ	地域・自然	「そとにいこうよ」(12)※茶摘み②を含む 【音】「さんぽ」【図】「おひさまにここに」					「はっばのいろがかわったよ」(9) 【生】「あきをさがそう」 学習発表会(4) 「冬がきたよ」(9)【生】「冬をたのしもう」					茶摘み②  子どもヘルパー活動⑤  本校に学ぶ 児童・児童会	
2年 (35)	うぶやま探検		「わたしたちの村をたんけんしよう」(8) ※茶摘み②を含む 【生】「ときどきわくわく町たんけん」 「生きものを飼おう・育てよう」(4) 【生】「生きものなかよし大きくせん」					「わたしたちの村をたんけんしよう」(4) 「もっとむらの人となかよくなるう」(15) 【生】「もっとなかよし町たんけん」 学習発表会(4) 【図】「ようすをあらわすことば」						
3年 (45)	うぶやまを学ぶ	くらし	「うぶやまのよさを見つけよう」(31)※茶摘み②を含む ※保育園との交流(いもなえ植え) 【図】「食べもののひみつ教えてください」【社】「農家の仕事」 【理】「しぜんのかんさつをしよう」 「学習のまとめをしよう」(10) 学習発表会(4)											
4年 (45)	うぶやまの 自然とくらし	草原	「草原とわたしたち」(12) 茶摘み(2) 子どもヘルパー活動(3) 米作り体験(8) 【理】「季節と生き物」【図】「森の芸術家」 学習発表会(8) ファースト卒業式の歌組(6) 1年間のまとめ(1)											
5年 (45)	うぶやまに学ぶ	稲作	「うぶやまの米作りを学ぶ」(7) 子どもヘルパー活動(13) 水田に学ぶ(12) 【図】「ゆるやかにつながるインターネット」【社】「これからの食料生産とわたしたち」 学習発表会の歌組【準備・まとめ(5) 学習発表会(4)】											
6年 (45)	うぶやまの 生き方	福祉	「うぶやまの平和のために」(16) 「うぶやまでそだった自分を見つめよう」(8) 「学習発表会に取り組もう」(6) 子どもヘルパー活動(15) 【道】「うちらネコの手ボランティア」【社】「わたしたちの生活と政治」 【京】「考えよう これからの生活」											
7年 (45)			「福祉(うぶやまの福祉)」(15) 平和学習(6) 「学習発表会の歌組」(9) 子どもヘルパー活動(15)											
8年 (45)	うぶやまは学ぶ	仕事	「道徳学習」(2) 「産業(うぶやまで働く)」(25) (うぶやまと山ロ・広善)(6) (人権学習)(2) 「学習発表会の歌組」(10)											
9年 (45)	私たちの未来	未来	「道徳学習」(12) 「学習発表会の歌組」(10) 道徳公開(10) 「子ども議会の歌組」(13)											



田植え



茶摘み



中学生「子ども議会」 ※村議員等を前に提案



子どもヘルパー活動(訪問活動の様子)

## 令和6年度からの変更点

○米作り体験を4年生で実施

※令和6年度は、移行期間として4年生と  
5年生で米作り体験を実施  
令和7年度は、4年生で実施

○ヘルパー活動をセカンドステージ中心で実施

○子どもヘルパーの訪問活動を再開

# 4年生の活動の様子



子どもヘルパー  
任命式

村のゴールドクラブ  
の活動に参加



## 5年生の活動の様子



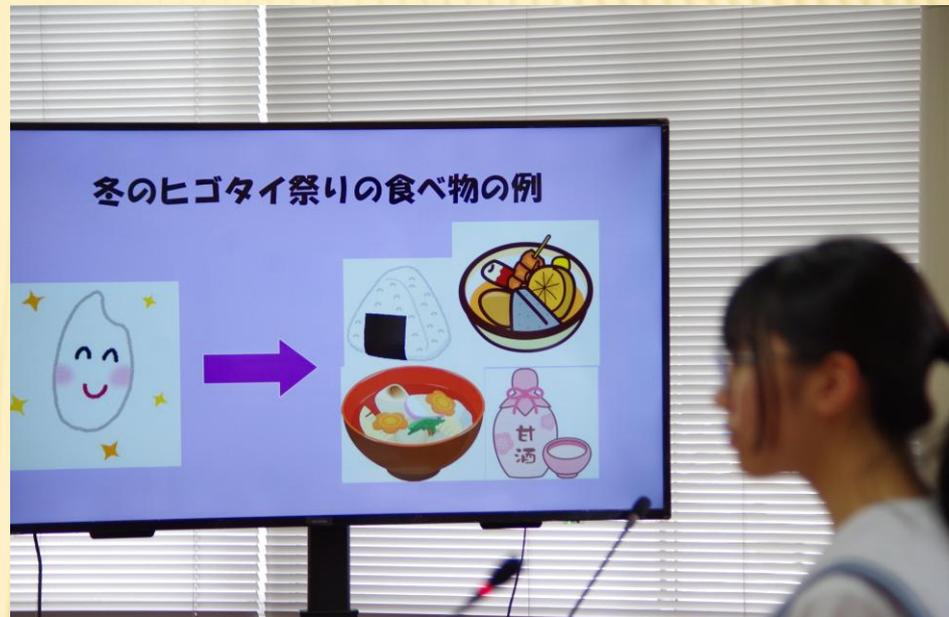
## 子どもヘルパー任命式

## 6・7年生の活動の様子



1人暮らしのお年寄りの家を訪問

# 子ども議会





# 「山鹿川」への河川名復元

- × 平成30年2月2日の「子ども議会」において、産山中学校（現産山学園）の最後の卒業生である先輩達が、「玉来川は、かつて山鹿川と呼ばれており、古くから親しまれている産山にゆかりのある『山鹿川』の名称に変更できないものだろうか」と提案しました。程なく、先輩達の故郷を思う提案に賛同した村民の方々は「産山村の山鹿川を考える会」を立ち上げ、名称復元の署名活動を展開し、村と村議会は、県知事や九州地方整備局長、県議会議長に要望書を提出しました。そしてついに、国土交通省社会資本整備審議会で審議され、令和元年7月5日、官報にて正式に「玉来川」から「山鹿川」に名称復元することが認可されました。産山を愛し、産山を誇りに思う子ども達の思いが実現したのです。



### (3) 特色ある教育課程の編成

## (ウ) チャレンジ学習

### 教育課程の編成（R6年度）

学年 教科等	1ステージ				2ステージ			3ステージ	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
英会話科	20	20	20	20	35	35	35	35	35
英語科			35	35	70	70	140	140	140
うぶやま学	34	35	45	45	45	45	45	45	45
チャレンジ学習			25	25	25	25	25	25	25

# チャレンジ学習

通称「チャレ学」

国語（漢字）

英語

算数・数学

△学園生が自分で目標を設定  
△複数の教員できめ細やかな指導

○基礎基本の定着

○学習意欲の喚起

○発展的学習

○個々の力を伸ばす

各種検定へチャレンジ

各種検定＝英検、漢検、算検・数検  
タイピング



算数検定受検



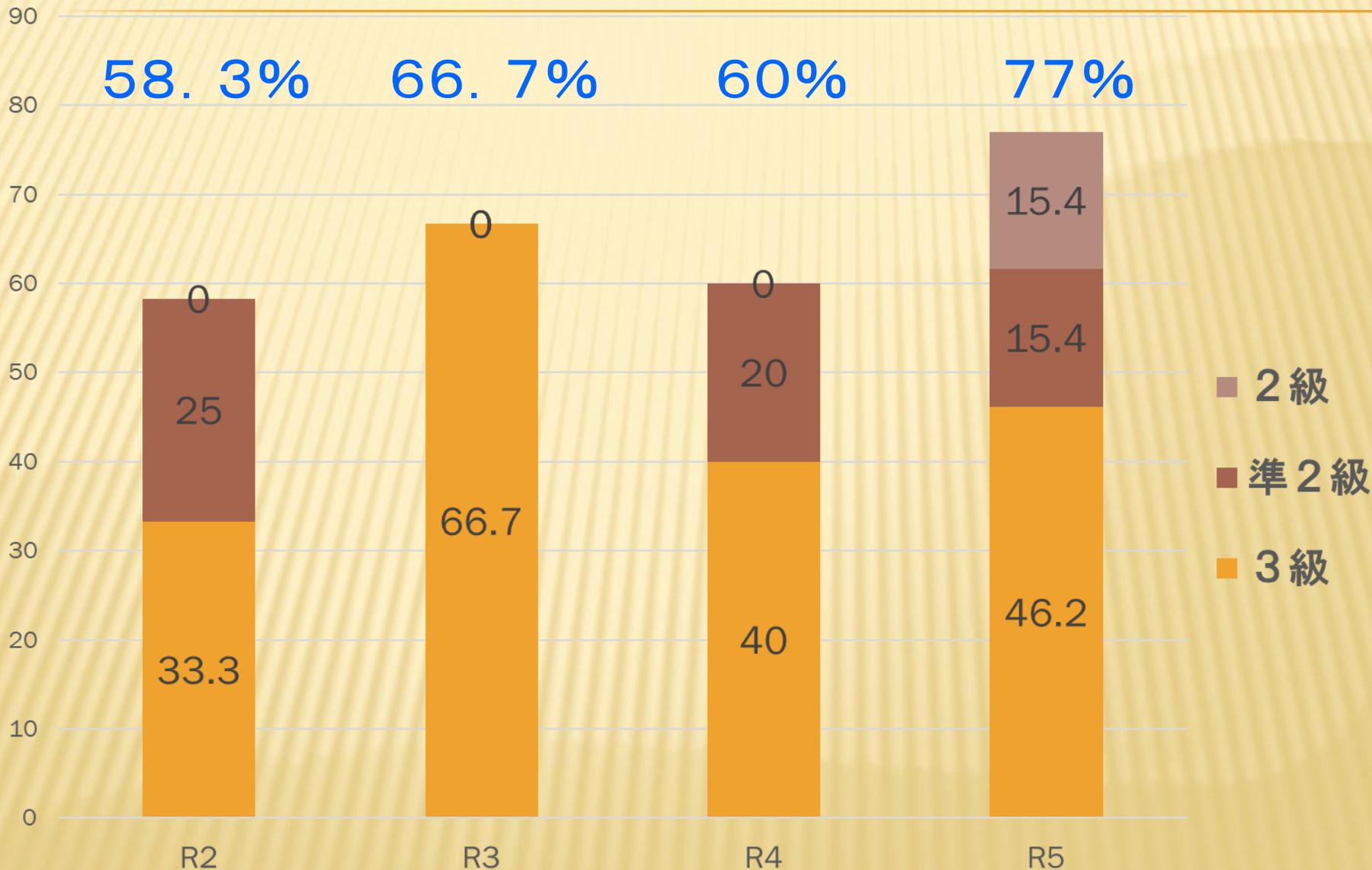
※昨年度から始めたタイピング検定

※英検は、3～5年はジュニア英検、6年から英検5級を受検している。  
※村助成により、各検定は1～6年1,500円 / 年、7～9年2,300円 / 年の負担で何回も受検できる。

# 各種検定取得状況(3月末現在)

	学 年	～6級	5級	4級	3級	準2級	2級	準1級
漢字	7年生 (14名)	6	5	2	1			
	8年生 (8名)	1	4	1	1	1		
	9年生 (13名)	1	2	4	5	1		
数学	7年生 (14名)	1	10	3				
	8年生 (8名)	2		6				
	9年生 (13名)	1			10	1		
英語	7年生 (14名)		5	6	3			
	8年生 (8名)		2	3	2	1		
	9年生 (13名)		1	2	6	2	2	

# 9年生の3級以上取得率(英検)



# 3 取組の概要

---

## (4) ICT教育の推進

# 産山学園のICT環境（R6年4月現在）

- \* 「GIGAスクール構想」実現のため、学園生1人1台のノートPCと高速大容量通信ネットワーク環境を校内に整備
- \* 教師用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書
- \* SkyMenu、ロイロノート、eライブラリ  
（前期課程はこれに加えて問題データベースタブレットドリル、小学館デジタルドリルシステム）
- \* 各教室に電子黒板、実物投影機、電子黒板用PC
- \* 校務用PC 教員1人1台
- \* 校務用iPad 授業者用に25台
- \* 各教室にApple TV

# JAET（日本教育工学協会）の認定



学校情報化優良校認定

平成28年3月31日～

C

# 産山学園のプログラミング学習の時数

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
時数	3	3	3	3	5	5	5	5	5
	生活	生活	C学	C学	C学	C学	技家	技家	技家

C

# 産山学園のプログラミング学習

- ・1～2年生：生活科
- ・3～6年生：チャレンジ学習

の時間内で行う

A

# 産山学園のプログラミング学習

- ・7～9年生：技術・家庭  
の時間内で行う

1年 アルゴリズム

さわるとニャーゲーム制作

2年 サイトサイトの演奏

3年 PCのキーボードを音楽のキーボードにする

サッカーゲーム制作

4年 宇宙船ゲームの制作

5年 ドローン、(micro:bit)、デジタル時計

6年 ドローン、(micro:bit)、ストップウォッチ

789年

Arduino、100V家電制御、モーター制御

## 3～8年生 タイピング大会を実施



本年度からタイピング検定を実施

---

# (5) コミュニティ・スクール

# 地域との連携(コミュニティ・スクール)

- 平成22年3月、学校運営協議会が設立される。
- 学校支援地域本部事業(30年度から地域学校協働本部事業)とタイアップして、「われら学校の応援隊」というコンセプトのもと産山小中学校コミュニティ・スクールが立ち上げられた。

## われら学校応援隊

それぞれの地域の応援隊が「学校運営協議会」を支える。

### ◆交流コミュニティ(広げ隊)

交流活動を通して、他地域や他国の文化や伝統を理解し心の交流を深め、国際社会の一員としての自覚と故郷「産山」や日本の文化伝統を深く学ぶ場とするための支援を行う。

### ◆体験コミュニティ(暮らし隊)

体験を通して、福祉や将来の進路に関心を持ち、自分たちの暮らしや生き方を考えるための支援を行う。

### ◆文化・安全コミュニティ(伝え隊)

産山村の伝統文化を守り伝えていく心を養い、産山村の地域安全を守る活動を通して、産山を愛する心を育てるための支援を行う。

### ◆学習支援コミュニティ(学び隊)

環境学習や食育や地域学習の支援を行ったり、読書に親しむ態度を育てたりする支援を行う。

# コミュニティ・スクール

基本コンセプト:「我ら学校応援隊」

## 学校運営協議会

〈構成〉◇各コミュニティ代表4名 ◇各行政機関代表 ◇保護者代表1名  
◇学校長・副校長・教頭2名 ◇教育委員会が必要と認める者若干名

### 学校運営協議会事務局

#### 交流コミュニティ (広げ隊)

交流活動を通して、他地域や他国の文化や伝統を理解し、国際社会の一員としての自覚と、ふるさと「産山」や日本の文化・伝統を学ぶ場の支援

- ◆ヒゴタイ交流
- ◆海山交流
- ◆国際理解教育

#### 体験コミュニティ (暮らし隊)

体験を通して、福祉や将来の進路に関心を持ち、自分たちの暮らしや生き方を考えるための支援

- ◆子どもヘルパー活動
- ◆福祉体験活動
- ◆学びの森活動
- ◆職場体験学習
- ◆農業体験学習

#### 文化・安全 コミュニティ (伝え隊)

産山村の伝統・文化を守り伝えていく心を養い、産山村の地域安全を守る活動を通して、産山を愛する心を育てるための支援

- ◆ヒゴタイ太鼓
- ◆学園消防隊
- ◆登校安全

#### 学習支援 コミュニティ (学び隊)

環境、食育、地域等に関する学習を支援したり、読書に親しむ態度を育てたりするための支援

- ◆地域学習
- ◆環境学習
- ◆子ども議会
- ◆食育
- ◆読み聞かせ

### 産山村地域学校協働本部コーディネーター

### 産山村地域学校協働本部

# 交流コミュニティ（広げ隊）

## ヒゴタイ交流

### 産山学園での様子(交流と学習)



7年学級歓迎会



5年英会話活動



引率の先生との交流給食



後期課程かた交流



8年学年PTA活動餅つき



体育剣道授業



全学年交流遊び



記念植樹



9年学級送別会

### 地域交流と日本の伝統文化を学ぶ(10/11-15-24)



#### ○陶芸体験活動

前村教育委員さんを講師に、ホストファミリープログラムとして、陶芸体験活動を行いました。

当日はカップや皿、器などをイメージして成形の製作を楽しみました。完成後はタイに送る予定です。



#### ○着付け・料理体験活動

専門の技術を有した村の地域ボランティアを招いて行いました。

着付けでは茶道体験も併せて行い、料理体験では、新米を使った巻き寿司作りに挑戦しました。日本の文化に興味を持ち感動していたようです。



## 海山交流



7月:海山交流活動

☆他の地域や郷土の文化・伝統の理解  
☆産山や日本の文化・伝統を学ぶ。

# 体験コミュニティ（暮らし隊）

## 職場体験



## 子どもヘルパー（福祉体験）



## 農業体験



☆福祉や将来の進路に関する体験活動  
☆自分たちの暮らしや生き方を考える。

# 文化・安全コミュニティ（伝え隊）



1月:産山村出初め式(学園消防隊)

学園消防隊



安全指導



ヒゴタイ太鼓



ソーラン節

△産山村の伝統・文化を守り伝える。  
△地域の安全を守る。

# 学習支援コミュニティ（学び隊）



子ども議会



地域学習



夢の給食講話



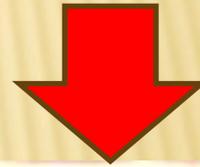
読み聞かせ

- ☆環境、食育、地域等に関する学習
- ☆読書に親しむ態度を育てるための活動

平成27年12月、本村の学校支援活動が認められ文部科学大臣賞を受賞する。



熊本PTA連合会表彰  
令和4年6月4日



表彰状

産山村立産山学園PTA 殿  
貴団体は組織運営にすぐれ  
子どもの幸せと健全な  
育成を図るため会員の  
研修と相互連携に努め充実  
した活動を続けられました  
その功績は誠に顕著であり  
ここに表彰いたします

令和四年十二月十八日

九州ブロックPTA協議会

会長 池間



表彰状

産山村立産山学園PTA様  
貴PTAは会員の熱意  
と連帯により児童生徒  
の健全育成と学校教育  
の振興に尽力されました  
よってその顕著な功績を  
讃え表彰いたします

令和四年六月四日

熊本県PTA連合会

会長 田中万里



九州PTA協議会表彰  
令和4年12月18日

